The background of the entire page is a collage of students in blue school uniforms. The top half shows a group of students sitting at a long table, each with a laptop. Some are looking at their screens, which display video call interfaces. The bottom left shows a student in the foreground using a laptop, with another student behind them. The bottom right shows two students sitting at a desk, one holding a tablet. A large, semi-transparent circular graphic with concentric rings in shades of blue and brown is centered over the text.

はじめよう

# 遠隔交流学習

Let's enjoy talking with  
various people online.

群馬県総合教育センター

令和5年3月

# 目 次

1	遠隔交流学習とは？	1
2	活動を設定しよう	2
3	交流相手を決めよう	3
4	単元計画を作成しよう	4
5	申請をしよう	5
6	活動アイデア	
①	「自己紹介」～話すこと[発表]～	10
②	「おすすめの国」～話すこと[発表]～	12
③	「夏休みの思い出」～話すこと[やり取り]～	14
④	「お店での注文」～話すこと[やり取り]～	16
⑤	「日本の文化」～話すこと[発表]～	18
⑥	「他己紹介」～話すこと[発表]～	20

# 1 遠隔交流学习とは？



## 「遠隔交流学习」ってなに？

1人1台端末等を使い、離れた学校の児童同士や児童と英語話者をオンラインでつなぎ、自分の考えや気持ちなどを伝え合う学習方法です。

## どんなメリットがあるの？

遠隔交流学习は距離的・時間的制約を受けることが少ないので、遠隔地の児童生徒や英語話者と交流することが対面に比べ容易にできます。伝える相手の幅が広がることで、伝える必要感や英語を使う必然性のある目的・場面・状況を創出することができ、児童は、意欲をもって単元の学習を進めたり、進んで伝え合う活動に取り組み、伝わった喜びを実感したりすることができます。

## 指導のポイントは？

### ①ICTの効果的な活用

ICTを活用し、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を推進し、求められる児童の資質・能力の育成を目指しましょう。

#### ICTの活用例

- ・単元の課題提示
- ・新出語彙の確認や練習
- ・個別の発音練習
- ・資料作成
- ・歌、チャンツ
- ・発表の録音や録画
- ・やり取りや発表
- ・振り返りの共有



### ②必要感のある言語活動

児童が伝える必要感をもって取り組む言語活動を設定するには、活動の目的・場面・状況を明確にすることが重要です。遠隔交流学习を行い、話題や交流相手の幅を広げることで、児童の「知りたい」「伝えたい」という思いや意欲を高めることができます。

#### 単元の課題（例）

- ・日本のよさを知ってもらうために、留学生たちに日本の伝統的な行事や文化を伝えよう。
- ・同じ中学校に進学する●●小学校の6年生との交流を深めるために、自分のことを伝えたり、相手のことを知ったりしよう。

### ③相手意識

遠隔交流学习では、画面越しで発表したり、初対面の人とやり取りをしたりするので、事前の発表練習では相手への伝わりやすさをより意識して取り組ませましょう。

伝える内容  
(何を、どの順番で)



伝え方の工夫  
(声の大きさ、  
スピードなど)



資料の分かりやすさ  
(スライドや写真の  
提示の仕方)



リアクション  
(相手の反応を確認、  
自分からの反応の仕方)



## こんなことに気を付けよう！

遠隔交流学习は、交流場面を設定しただけでは教師がねらいとする児童の姿を達成することはできません。児童が自信をもって交流活動に取り組めるように、繰り返し練習や言語活動に取り組ませましょう。また、単元計画の追究する過程においても交流日当日と同じ教室環境で発表練習に取り組ませるなど、安心して交流日を迎えられるように単元計画を構想することも大切です。さらに、児童の実態に合わせ、扱う表現を選定したり、交流方法を工夫したりすることも大切です。児童がわくわくドキドキしながら交流する姿を想像し、遠隔交流学习を始めましょう。

## 2 活動を設定しよう

### 設定のポイント

児童生徒が必要感をもって自分の思いや考えを伝え合うことができるような活動を設定することが大切です。また、伝え合う内容に応じて扱う表現を選択したり、グループ同士で交流するなど交流方法を工夫したりすることも重要です。

<活動例> ※   : 中学年   : 高学年

**活 動：**好きなものを紹介しよう！

**基本語彙：**色、スポーツ、果物、野菜など

**基本表現：**What (sport) do you like? I like (tennis).



**活 動：**一日の生活について伝え合おう！

**基本語彙：**時刻、日課など

**基本表現：**I wake up (at 6:00). I have breakfast (at 7:00).



**活 動：**オリジナルパフェ・ピザを紹介しよう！

**基本語彙：**果物、野菜、数など

**基本表現：**What do you want? I want (potatoes), please.  
How many? (Two), please.



**活 動：**中学校生活についての思いを伝えよう！

**基本語彙：**学校行事、部活動、動作など

**基本表現：**I want to join (the volleyball team). I want to enjoy (sports day).  
I'm good at (jumping). I want to be (a volleyball player).



**活 動：**日本の四季や文化を伝えよう！

**基本語彙：**季節、遊び、年中行事、感想など

**基本表現：**Why do you like (winter)? We have (New Year's Day) in winter.  
What do you do on (New Year's Day)? I usually (play karuta). It's (fun).



**活 動：**オリジナルカレーを紹介しよう！

**基本語彙：**野菜、食材、国など

**基本表現：**What did you eat for (breakfast)? I ate (natto).  
I usually eat (beef curry). The (beef) is from (Australia).  
(Beef) is in the (red) group.





## 3 交流相手を決めよう

遠隔交流学习の魅力の一つは、多様な人と容易に交流できることです。日本全国、世界中の人たちと交流することも可能です。活動内容や目的に応じて、相応しい交流相手を設定しましょう。

### 交流相手とその特徴 (○:よさ ▲:留意点)

#### 自校の児童



- 教師同士の事前の打合せや、児童同士の交流が容易にできるため、教師への負担が少ない。
- 他学級や他学年の児童と交流を深める機会になる。
- ▲他学年の児童と交流する場合は、既習の語彙や表現がお互いに異なるため、相手が理解できる語彙や表現を選択したり、ジェスチャーを使ったりするなど相手に伝わる工夫をする必要がある。

#### 他校の児童 ① 連絡系統図① (P.5) へ



- 学校生活や住んでいる地域のことなど、交流を通じてお互いの共通点や相違点を知ることができる。
- 交流相手が同学年であれば学習内容が同じであるため、授業で学習した表現を使ってやり取りや発表などをすることができる。
- ▲校時表が学校ごとに異なるので、交流開始時刻や交流予定時間を決めておく必要がある。

#### 中学生 ② 連絡系統図① (P.5) へ



- 授業や部活動など、中学校生活のことについて事前に知ることができ、安心して中学校生活を迎えられる。
- 中学生との交流を通して、英語学習を積み重ねていくと表現できることが増え、自分の気持ちや考えをより詳しく伝えられるようになることを実感できる。
- ▲小学生が理解できる語彙や表現を使用してもらったり、聞き取れる速さで話してもらったりする必要がある。

#### 他校のALT ③ 連絡系統図② (P.5) へ



- 英語を使う必然性のある目的・場面・状況を創出することができる。
- 授業を通じて普段から児童生徒と関わっているので、児童生徒が理解できる英語を使ったり、安心感を与えるような態度で聞いたりする等の配慮ができる。
- ▲ALT は教育委員会に在籍しているので、所属の教育委員会や学校に事前に許可を取る必要がある。

#### 留学生 ④ 連絡系統図③ (P.6) へ



- 英語を使う必然性のある目的・場面・状況を創出することができる。
- 様々な国の学生がいることから、異なる文化をもった人たちと交流することができる。
- 日本の文化について関心が高いため、興味をもって交流学习に協力してくれる。
- ▲留学生は多様な国々の方がいるので、話す英語を児童が聞き取りづらい場合もある。

#### ALTの家族や友人



- 英語を使う必然性のある目的・場面・状況を創出することができる。
- 複雑な申請等を経ずに、交流することができる。
- ALTのことをより深く知ったり、ALTの出身国での生活や文化に触れたりする機会になる。
- ▲時差の関係でオンタイムでの交流ができない場合もある。

## 4 単元計画を作成しよう

単元計画を作成し、単元における遠隔交流学習の位置付けを明確にしましょう。



<p>○単元の課題は、児童が必要感をもって取り組めるよう、活動の「目的・場面・状況」をしっかりと設定する。</p> <p>○「試しの活動」は既習事項だけで取り組ませる。</p>		<p>◇基本的な学習活動 ☆遠隔交流学習例</p> <p><b>1 単元の課題を把握する。</b></p> <p>課題提示型</p> <p>◇単元の課題に出合う。(教師が提示する。)</p> <p>◇活動の「目的・場面・状況」を確認する。</p>
<p>※「目的・場面・状況」の設定例 「日本に来たばかりの留学生に、日本のよさを伝えよう。」 →その他の設定例は、活動アイデア(p.10～)を参考にしてください。</p>	つかむ	<p>課題発見型</p> <p>◇教師が提示する「場面・状況」を捉える。</p> <p>◇単元の課題を発見する。</p> <p>【単元の課題】</p> <p>&lt;必要感をもって思いや考えを伝え合う活動&gt;</p> <p>◇活動の「目的・場面・状況」を確認する。</p> <p>◇「試しの活動」として単元の課題に取り組む。</p> <p>☆教師がオンラインで留学生に日本のよさを紹介する様子を見て、単元の課題を把握する。</p>
<p>○Aでは、新出言語材料に触れる活動が中心となるが、言語材料に触れるだけでなく、授業の中に、必ず言語活動を設定する。</p> <p>○A B Cは順番に指導するが、A+Bと単位時間の中で組み合わせる指導することもある。</p>		<p><b>2 単元の課題の解決に向け、単位時間ごとに追究する。</b></p> <p>単位時間</p> <p>◇めあてを確認する。</p> <p>A 「単元の課題の解決」に向けて、新出言語材料に触れる。</p> <p>B 新出言語材料を活用する言語活動に取り組む。</p> <p>C まとめの活動に取り組む。</p> <p>◇振り返りを行う。</p> <p>☆オンラインで留学生に日本のよさを紹介する活動を通して、自分自身の課題に気付く。</p> <p>(1回目の遠隔交流学習)</p>
<p>○Web会議システムを用いた言語活動に慣れさせる。</p> <p>○言語面と内容面における振り返りをして、遠隔交流学習における自己の課題を把握する。</p>	追究する	
<p>○1回目の遠隔交流学習で児童が感じた課題を改善させ、発表ややり取りに取り組ませる。</p> <p>→単元を通じて、何ができるようになったのかを児童が自覚できるようにする。</p>		<p><b>3 単元の課題を解決する。</b></p> <p>◇「追究する」過程で習得した知識及び技能、整理した情報、考えなどを活用し、単元の課題に示された伝え合う活動に取り組む。</p> <p>☆話す内容や順番、伝え方などを見直し、オンラインで留学生に日本のよさを紹介する。</p> <p>(2回目の遠隔交流学習)</p> <p>◇単元全体の学習の振り返りをする。</p>
<p>○単元を通じての学びを自覚できるように、言語面として伝えられたことや、内容面として新たに気付いたり、感じたりしたことを振り返らせる。</p>	まとめる	



## 5 申請しよう

交流相手に合わせて、連絡系統図①～③を参考にして申請の手続きを進めましょう。

※資料①・・・「遠隔交流学习申請書」(P.7)

→自校の管理職や相手校、外部機関等への申請の際活用できます。

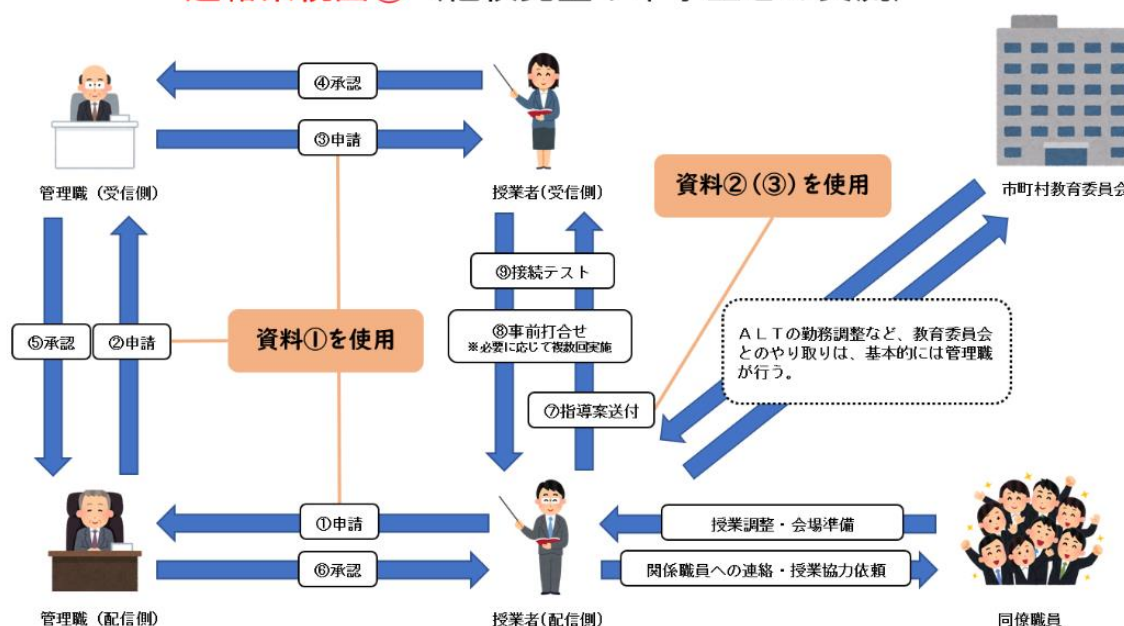
※資料②・・・「学習指導案(日本語版)」(P.8)

→相手校の担当職員と授業の流れについて打合せを行う際に活用できます。

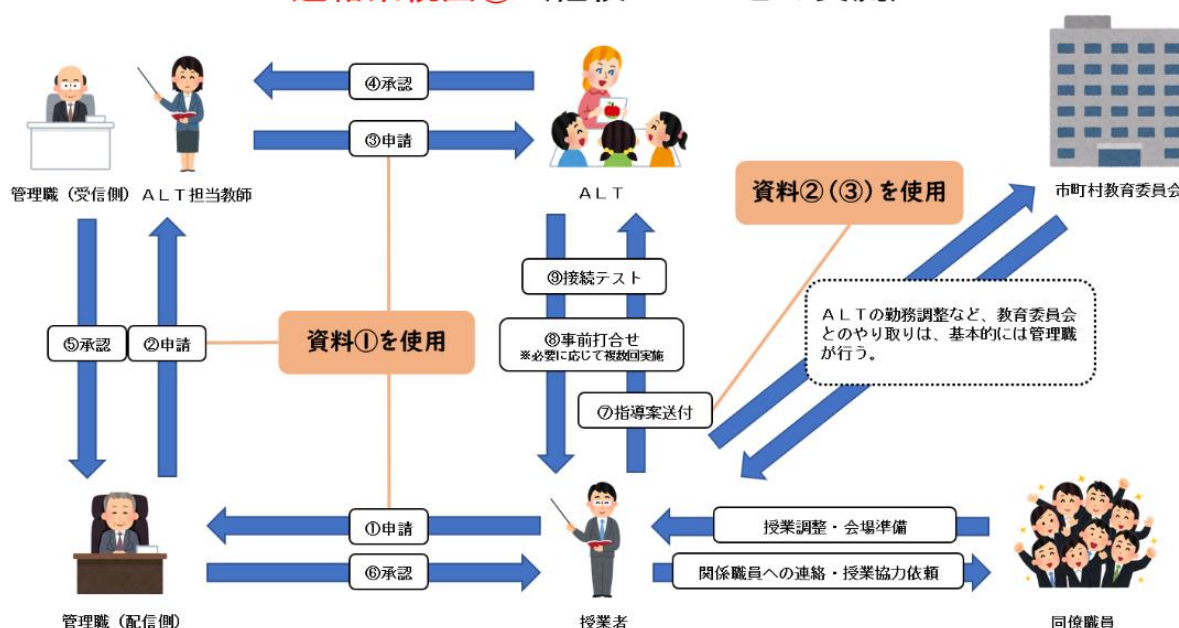
※資料③・・・「学習指導案(英語版)」(P.9)

→自校や相手校のALT、または留学生等と授業の流れについて打合せを行う際に、必要に応じて活用できます。

連絡系統図① (他校児童や中学生との交流) ※番号は順序を示しています。

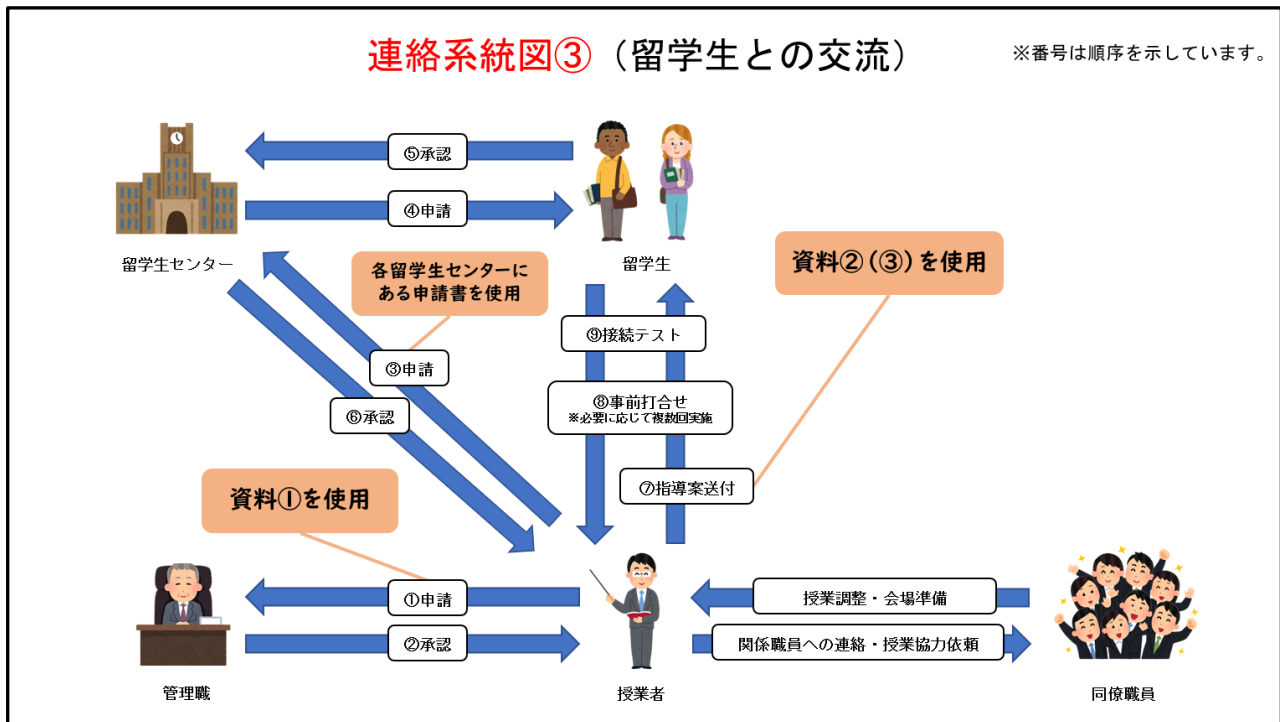


連絡系統図② (他校ALTとの交流) ※番号は順序を示しています。



### 連絡系統図③（留学生との交流）

※番号は順序を示しています。



#### 留意事項



- ・管理職や関係職員と**連携**を取りながら、申請や準備を進めていきましょう。
- ・イヤホンやマイクなど、必要となる ICT 機器の**数や動作確認**を事前におきましょう。
- ・単元で扱う表現や既習表現など、**交流時に使用する語彙や基本表現**などを交流相手と確認しておきましょう。
- ・市町村や相手校によって対応や手順が異なる場合がありますので、**事前に担当者同士で申請の仕方の確認**が必要です。



## 資料①

## 遠隔交流学习申請書

令和●●年●●月●●日（●●）

●● ●● 様

申請者 学 校 名 ●●市立●●小学校

申請者氏名 ●● ●●

電話番号 0270-XXXX-XXXX

遠隔交流学习を実施したいので、下記のとおり申請します。

目的	同じ中学校に進学する予定の6年生同士が、外国語の授業を通じてお互いのことを知り、交流を深めるため。		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループごとに分かれ、自己紹介をする。</li> <li>・好きなものやできることなど、既習表現を用いて質問をし合う。</li> <li>・振り返りを発表（共有）する。</li> </ul>		
対象学年	本校	学年：6	組：1
		人数：30	
	貴校（貴団体）	学年：6	組：松
		人数：18	
希望日時	第1希望	令和 5年 5月 10日（月）14時00分～14時45分	
	第2希望	令和 5年 5月 17日（月）14時00分～14時45分	
	第3希望	令和 5年 5月 18日（火）10時40分～11時25分	
使用機器	<input checked="" type="checkbox"/> 大型モニター・テレビ（1）台 <input checked="" type="checkbox"/> 児童用端末（18）台 <input checked="" type="checkbox"/> ヘッドホン・イヤホン（18）個 <input type="checkbox"/> マイク（ ）本 <input type="checkbox"/> スピーカー（ ）台 <input type="checkbox"/> Web 会議システム用端末（ ）台 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童は、自分の端末を使用して交流を行います。</li> <li>※発表資料も端末に収めておいてください。</li> <li>・1グループあたり4～5人で行いたいと思います。</li> <li>・事前の接続テストを2回程度させていただきたいです。</li> </ul>		

## 資料②

## 外国語活動・外国語科学習指導案

令和○年○月○日（○）第○校時（○時○分～○時○分）

○年○組 指導者 ○○ ○○

## 1 ねらい

自分のことをよく分かってもらうために、好きなものやこと、できることなど、自己紹介に関する  
ことについて、伝わるように工夫しながら話すことができる。

## 2 準備物

1人1台端末、TV、ヘッドホン（イヤホン）

## 3 展開

過程	時間	○主な学習活動 ☆児童の意識	指導上の留意点及び 支援・評価
つかむ	8分	1 挨拶をする。 ○天気、曜日、日付、今日の気分などについて答える。  2 ウォームアップをする。 ○デジタル教材の歌・チャンツに取り組み、これまでの学習を想起する。	○発音が難しい場合は、A L Tの後に続いて復唱させる。  ○明るい雰囲気テンポよく行う。
追究する	5分	3 本時のめあてをつかむ。 ○教師の実演を通して、本時の活動とめあてを確認する。	○これまでの学習を想起させることで、本時の活動に対しての意欲を高める。
		<div>遠隔交流学習</div> <div>【本時のめあて】 他校の6年生に自分のことをよく分かってもらうために、自己紹介をしよう。</div>	
	27分	○発表のポイントを確認する。 ☆自分のことが伝わるように発表しよう。 ☆聞き取りやすいようにゆっくり話そう。  4 単元の課題に示された伝え合う活動に取り組む。 ○グループに分かれ、自己紹介をする。 ☆発表の声小さかったから、聞き取りづらそうだったな。 ○全体で中間の振り返りを行う。 ☆●●さんは、相手の反応を確かめながら発表しているね。 ☆2回目の発表では、分かりやすく伝わるように発表内容の順番を変えよう。 ○中間の振り返りを生かし、相手を替えて、再度自己紹介をする。 ☆1回目よりも上手に発表ができた。	○聞き手に分かりやすく伝えるための工夫を児童から引き出す。  ○聞き手には笑顔でうなずきながら発表を聞かせるようにする。 ○模範となる児童に発表させ、よいところを2回目の発表に反映させる。 ○伝える内容の順番などを見直させる。  <div>◇自分のことをよく知ってもらうために、自己紹介に関することについて、声の大きさや話す速さなどを工夫しながら話している。 &lt;行動観察(知)(思)&gt;</div>
まとめる	5分	5 単元全体の振り返りをする。 ○発表のポイントや中間の振り返りを生かし、発表できたかどうかを振り返る。 ☆1回目の発表では早口になってしまったけど、2回目の発表ではゆっくりと話すことができ、自分のできることなども伝えることができた。	○単元全体を通して、言語面と内容面で振り返らせる。 ○振り返りの内容を全体で共有する。

## 資料③

## English Lesson Plan

Date: October 10th

Teachers: Gunma Taro

Thomas Alva Edison

## I Aims

- To give self-introduction easily to understand
- To know each other well, ask some questions using expressions they have already learned

## 2 Preparation

Students: textbook, tablet PC, headphones(earphones)

Teachers: textbook, PC, TV

## 3 Flow of Class

Time	Content	Aids / Instruction points
8 Min.	<b>1 Greeting</b> ○Answer the following questions. <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;">             1. How are you?              2. How is the weather today?              3. What day is it today?              4. What's the date today?           </div> <b>2 Chants and singing a song</b>	○Ask the 4 questions. (No. 1-No.4)  ○Do chants and sing a song together.
Online class		
5 Min.	<b>3 Check today's goal</b> ○Listen and watch teacher's demonstration.  <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <b>Today's goal</b>              Let's try to give our self-introduction easily to understand and know each other well asking some questions.           </div>	○Show a demonstration. -Speak clearly and a little bit slowly
27 Min.	<b>4 Interaction online [main activity]</b> ○Self-introduction (1st try) ・Get in a group of 3 or 4. ・Each of them gives self-introduction one by one. ・Listeners ask some questions to the speaker after self-introduction. ○Listen to teachers' comments ・Find some improvement points and try to improve their self-introduction. ○Self-introduction (2nd try) ・Change the members of their groups and try again. ※same flow as the 1st try	○Walk around the class and check how they are doing. ○Give some comments about what they did well.  ○Give some advice to make students self-introduction better.  ○Walk around the class and check how they are doing.
5 Min.	<b>5 Reflection</b> ○Check what we could do and what we learned.	○Praise students for their good try and their self-introduction in English.

## 6 活動アイデア ①「自己紹介」～話すこと[発表]～

### 1 単元目標

相手に自分のことをよく知ってもらうために、誕生日や好きなもの、ほしいものなどについて聞いたり自分の考えや気持ちを含めて話したりすることができる。

### 2 評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと 「発表」	<p>＜知識＞ 月日の言い方や、I like/want ～. What ～ do you like? When is your birthday?、その答え方について理解している。</p> <p>＜技能＞ 誕生日や好きなもの、ほしいものなどについて、I like/want ～. What ～ do you like? When is your birthday?等を用いて、自分の考えや気持ちなどを含めて話す技能を身に付けている。</p>	<p>自分のことをよく知ってもらったり相手のことをよく知ったりするために、相手の誕生日や好きなもの、ほしいもの、将来の夢などについて、自分の考えや気持ちなどを含めて話している。</p>	<p>自分のことをよく知ってもらったり相手のことをよく知ったりするために、相手の誕生日や好きなもの、ほしいもの、将来の夢などについて、自分の考えや気持ちなどを含めて話そうとしている。</p>

### 3 指導と評価の計画

過程	時間	●ねらい ○主な学習活動	☆ICT活用例	◇評価項目(観点) [指]: 指導に生かす評価 [記]: 記録に残す評価
つかむ	1	<p>●単元の課題を把握し、単元の課題を解決するための見通しをもたせる。</p> <p>○教師の実演により、単元の課題を把握する。</p> <p>○試しの活動に取り組み、単元の課題解決のために何を学ぶ必要があるのかを把握する。</p>	<p>☆単元の課題提示</p> <p>☆新出語彙や基本表現の確認と復唱</p> <p>☆振り返りの共有</p>	<p>◇単元の課題を把握し、課題解決に向けて、学習を進めていこうとしている。(態)[指]</p>
追究する	2	<p>●名前や好きなもの・こと、誕生日などのやり取りについて、おおよその内容を理解する。</p> <p>○名前や好きなもの・こと、誕生日などを表す表現に慣れ親しむ。</p>	<p>☆歌・チャンツ</p> <p>☆新出語彙や基本表現の復唱</p> <p>☆新出語彙や基本表現の発音練習</p> <p>☆発表用資料作成</p> <p>☆発表練習の録画とフィードバック</p>	<p>◇名前や好きなもの・こと、誕生日などを表す表現やそのたずね方、答え方について理解している。(知)[指]</p>
	3	<p>●好きなものやほしいものを聞き取ったり、それらについてたずねたり答えたりすることができる。</p> <p>○好きな動物やほしいものについてたずね合う。</p>	☆振り返りの共有	◇好きなものやほしいものについてたずね合っている。(知)[記]
	4	<p>●名前や誕生日を聞き取ったり、それらについてたずねたり答えたりすることができる。</p> <p>○名前や誕生日をたずね合う。</p>		◇名前や誕生日についてたずね合っている。(知)[記]
	5	<p>●将来の夢やできることを聞き取ったり、それらについてたずねたり答えたりすることができる。</p> <p>○将来の夢やできることについてたずね合う。</p>		◇将来の夢やできることについてたずね合っている。(知)[記]
	6	<p>●相手への伝わりやすさを意識して、発表練習に取り組むことができる。</p> <p>○話す内容や順序などを見直ししながら、発表練習に取り組む。</p>		◇相手への伝わりやすさを意識して、話す内容や順序などを見直そうとしている。(態)[記]
まとめる	7	<p>【遠隔交流学習】</p> <p>●自己紹介を通じて、自分のことを伝えたり、相手のことを知ったりすることができる。</p> <p>○自己紹介をしたり、相手の自己紹介を聞いたりする。</p>	<p>☆遠隔交流</p> <p>☆振り返りの共有</p>	◇自分の考えや気持ちなどを含めて自己紹介している。(思)[記]



## 6 活動アイデア ①「自己紹介」～話すこと[発表]～

交流相手：留学生

目的：留学生との交流活動を通して、英語を用いて自分の気持ちや考えを伝える楽しさを味わうとともに、他国の文化に触れる機会にする。

基本語彙：国、月、日付、動物、野菜、果物、スポーツ、動作など

基本表現：I'm ~. I'm from ~. I (don't) like ~. I want ~. I can (can't) ~.



### 発表（例）①質問の投げかけ無し

Hello.  
I'm Hiromi.  
Nice to meet you.  
I'm from Japan.  
My birthday is April 1st.  
I have two dogs.  
I can play volleyball.  
I want to be a volleyball player.  
Thank you.



### 発表（例）②質問の投げかけ有り

Hello.  
I'm Hiromi.  
Nice to meet you.  
I'm from Japan.  
My birthday is April 1st.  
I have two dogs.  
**Do you have dogs?**  
I can play volleyball.  
**Can you play volleyball?**  
I want to be a volleyball player.  
Thank you.



### コラム ICTで授業が変わる!?

距離に関係なく相互に情報の発信と受信ができるのがICTの強みの一つです。この強みを生かした遠隔教育では、学校同士をつないだ合同授業の実施や外部人材の活用、幅広い科目開設など、教師の指導や児童生徒の学習の幅を広げ、学びの質を向上させることができます。文部科学省は、遠隔教育に取り組む教師をサポートするために動画を作成・公開しているので、これらを活用して遠隔教育に取り組んでみましょう。



#### ①初級編「始めよう遠隔教育」

・Web 会議システムの使い方

#### ②中級編「始めよう遠隔教育」

・実践例の紹介や遠隔教育の進め方

#### ③上級編「始めよう遠隔教育」

・ICT 機器を活用する際の留意点

①



②



③



## 6 活動アイデア ②「おすすめの国」～話すこと[発表]～

### 1 単元目標

夏休みの旅行先について悩んでいるA L Tを助けるために、おすすめの国とその理由などについて、聞いたり自分の考えや気持ちを含めて話したりすることができる。

### 2 評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと [発表]	<p>&lt;知識&gt; ～ is …, You can ～, It's～, およびその関連語句などについて理解している。</p> <p>&lt;技能&gt; 行ってみたい国と、その理由などについて、～ is …, You can ～, It's～, およびその関連語句などを用いて、伝え合ったり、話したりする技能を身に付けている。</p>	夏休みの旅行先について悩んでいるA L Tを助けるために、おすすめの国とその理由などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちなどを含めて話している。	夏休みの旅行先について悩んでいるA L Tを助けるために、おすすめの国とその理由などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちなどを含めて話そうとしている。

### 3 指導と評価の計画

過程	時間	●ねらい ○主な学習活動	☆ICT活用例	◇評価項目(観点) [指]: 指導に生かす評価 [記]: 記録に残す評価
つかむ	1	<p>【遠隔交流学習】</p> <p>●単元の課題を把握し、単元の課題を解決するための見通しをもたせる。</p> <p>○オンラインでA L Tとつながり、夏休みの旅行先について悩んでいることを知る。</p> <p>○試しの活動に取り組み、単元の課題解決のために何を学ぶ必要があるのかを把握する。</p>	<p>☆単元の課題提示</p> <p>☆遠隔交流</p> <p>☆新出語彙や基本表現の確認と復唱</p> <p>☆振り返りの共有</p>	◇単元の課題を把握し、課題解決に向けて、学習を進めていこうとしている。(態)[指]
追究する	2	<p>●国、様子、食べ物、味などに関する語句や表現を理解することができる。</p> <p>○国、様子、食べ物、味などに関する語句や表現に慣れ親しむ。</p>	<p>☆歌・チャンツ</p> <p>☆新出語彙や基本表現の復唱</p> <p>☆新出語彙や基本表現の発音練習</p> <p>☆発表用資料作成</p> <p>☆発表練習の録画とフィードバック</p> <p>☆振り返りの共有</p>	◇国、様子、食べ物、味などに関する語句や表現について理解している。(知)[指]
	3	<p>●旅行先の国で見られるものを伝えることができる。</p> <p>○有名な建物や動物など、旅行先の国で見られるものを伝える。</p>		◇旅行先の国で見られるものについて、伝えている。(知)[記]
	4	<p>●旅行先の国で食べられるものとその味を伝えることができる。</p> <p>○旅行先の国で食べられるものとその味を伝える。</p>		◇旅行先の国で食べられるものとその味について、伝えている。(知)[記]
	5	<p>●旅行先の国で購入できるものを伝えることができる。</p> <p>○お土産として、旅行先の国で購入できるものを伝える。</p>		◇旅行先の国で購入できるものについて、伝えている。(知)[記]
	6	<p>●相手への伝わりやすさを意識して、発表練習に取り組むことができる。</p> <p>○話す内容や順序などを見直ししながら、発表練習に取り組む。</p>		◇相手への伝わりやすさを意識して、話す内容や順序などを見直しそうとしている。(態)[記]
まとめる	7	<p>【遠隔交流学習】</p> <p>●A L Tにおすすめの国とその理由について伝えることができる。</p> <p>○A L Tにおすすめの国とその理由を伝える。</p>	<p>☆遠隔交流</p> <p>☆振り返りの共有</p>	◇自分の考えや気持ちなどを含めて自己紹介している。(思)[記]

## 6 活動アイデア ②「おすすめの国」～話すこと[発表]～

交流相手：A L T

目的：夏休みの旅行先に迷っているA L Tのために、おすすめの旅行先を紹介する。

基本語彙：国名、食べ物、世界遺産、動作など

基本表現：Where do you want to go? I want to go to (Italy). (Italy) is a nice country.  
You can see (the Colosseum). You can eat (pizza). You can buy (chocolate).



### 発表（例）①詳しい情報無し

Hello.

America is a nice country.

You can see Niagara falls.

You can eat beef steak.

You can buy chocolate.

Thank you.



### 発表（例）②詳しい情報有り

Hello.

**Do you know this country?**

**This is America.**

America is a nice country.

You can see Niagara falls.

**It's beautiful.**

You can eat beef steak.

**It's big.**

You can buy chocolate.

**It's sweet.**

Thank you.



### コラム 遠隔教育がまるわかり!「遠隔教育システム活用ガイドブック」

これまで文部科学省では、「人口減少社会における ICT の活用による教育の質の維持向上に係る実証事業」や「遠隔教育システム導入実証研究事業」など、遠隔教育についての様々な取組が実施されてきました。それらの成果を基にして遠隔教育システム活用ガイドブックが作成されています。教育委員会や学校の具体的な取組の参考となるノウハウやポイントがまとめられており、遠隔教育を実施する上での参考になるので活用してみましょう。

#### ① 遠隔教育システム活用ガイドブック 第1版

(「遠隔教育とは」「遠隔教育の流れ」「実施のポイント」)

#### ② 遠隔教育システム活用ガイドブック 第2版

(「遠隔教育とは」「遠隔教育の流れ」「実施のポイント」)

#### ③ 遠隔教育システム活用ガイドブック 第3版

(「遠隔教育とは」「遠隔教育の流れ」「家庭学習を支援する遠隔・オンライン学習」「遠隔教員研修」)



①



②



③



## 6 活動アイデア ③「夏休みの思い出」～話すこと[やり取り]～

### 1 単元目標

世界と日本の夏休みの過ごし方についての違いを知るために、夏休みに訪れた場所や食べたものなど、具体的な情報を聞き取ったり、夏休みの思い出について伝え合ったりできる。

### 2 評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと 「やり取り」	<p>&lt;知識&gt; I went to ～. I enjoyed ～. I ate ～. It was ～. など、夏休みの思い出を表す表現について理解している。</p> <p>&lt;技能&gt; I went to ～. I enjoyed ～. I ate ～. It was ～. など、夏休みの思い出を表す表現を用いて、考えや気持ちなどを伝え合う技能を身に付けている。</p>	世界と日本の夏休みの過ごし方についての違いを知るために、夏休みの思い出について、お互いの考えや気持ちなどを伝え合っている。	世界と日本の夏休みの過ごし方についての違いを知るために、夏休みの思い出について、お互いの考えや気持ちなどを伝え合おうとしている。

### 3 指導と評価の計画

過程	時間	●ねらい ○主な学習活動	☆ICT活用例	◇評価項目(観点) [指]: 指導に生かす評価 [記]: 記録に残す評価
つかむ	1	<p>●単元の課題を把握し、単元の課題を解決するための見通しをもたせる。</p> <p>○教師の実演により、単元の課題を把握する。</p> <p>○試しの活動に取り組み、単元の課題解決のために何を学ぶ必要があるのかを把握する。</p>	<p>☆単元の課題提示</p> <p>☆新出語彙や基本表現の確認と復唱</p> <p>☆振り返りの共有</p>	◇単元の課題を把握し、課題解決に向けて、学習を進めていこうとしている。(態)[指]
追究する	2	<p>●夏休みの過ごし方についてのおおよその内容を理解する。</p> <p>○夏休みに訪れた場所やそこで楽しんだことなど、夏休みの思い出を伝える表現に慣れ親しむ。</p>	<p>☆歌・チャンツ</p> <p>☆新出語彙や基本表現の復唱</p> <p>☆新出語彙や基本表現の発音練習</p> <p>☆発表用資料作成</p> <p>☆やり取り練習の録画とフィードバック</p> <p>☆振り返りの共有</p>	◇夏休みの思い出を伝える表現について理解している。(知)[指]
	3	<p>●夏休みに訪れた場所を聞き取ったり、それらについてたずねたり答えたりすることができる。</p> <p>○夏休みに訪れた場所についてたずね合う。</p>		◇夏休みに訪れた場所についてたずね合っている。(知)[記]
	4	<p>●昨日食べたものとその味を聞き取ったり、それらについてたずねたり答えたりすることができる。</p> <p>○昨日食べたものとその味をたずね合う。</p>		◇昨日食べたものとその味についてたずね合っている。(知)[記]
	5	<p>●夏休みに楽しんだこととその感想についてたずねたり答えたりすることができる。</p> <p>○夏休みに楽しんだことと、その感想についてたずね合う。</p>		◇夏休みに楽しんだことと、その感想についてたずね合っている。(知)[記]
	6	<p>●夏休みの思い出について詳しく伝え合うために、資料を見直したり、相手への質問を考えたりすることができる。</p> <p>○夏休みの思い出について、分かりやすく伝えられるように資料を修正したり、追加したりする。</p> <p>○相手の夏休みについて詳しく知るための質問を考える。</p>		◇相手への伝わりやすさを意識して、話す内容や順序などを見直そうとしている。(態)[記]
まとめる	7	<p>【遠隔交流学習】</p> <p>●学習した表現を用いて夏休みの思い出を紹介することができる。</p> <p>○訪れた場所やその場所で食べたものを伝える表現などを用いて、夏休みの思い出について紹介することができる。</p>	<p>☆遠隔交流</p> <p>☆振り返りの共有</p>	◇自分の考えや気持ちなどを含めて夏休みの思い出について紹介している。(思)[記]



## 6 活動アイデア ③「夏休みの思い出」～話すこと[やり取り]～

交流相手：海外の小学生

目的：海外の小学生と夏休みの思い出を伝え合う活動を通して、世界と日本の夏休みの過ごし方についての違いなどを知る。

基本語彙：したこと、食べ物、自然、味など

基本表現：I went to ～. I enjoyed ～. I ate ～. It was ～.

### やり取り（例）①質問者主導

A: How was your summer vacation?

B: It was great.

A: Where did you go?

B: I went to Mt.Akagi.

A: What did you do?

B: I enjoyed hiking.

I saw many beautiful flowers.

A: What did you eat?

B: I ate curry and rice.



### やり取り（例）②発表→やり取り

A: I went to Mt.Akagi this summer.

I enjoyed hiking.

I ate curry and rice.

Do you have any questions?

B: Do you like hiking?

A: Yes, I do.

You can see beautiful flowers.

B: Really? That's nice.

How was your curry and rice?

A: It was delicious.



### コラム 目的や用途に応じてカメラを使い分けよう！

#### 専用カメラ

ビデオ会議システムに付属しているカメラ。リモコンでパンやズームなどが操作できるものもある。



#### Web カメラ

USB 端子などで PC に接続して使うカメラ。PC によっては Web カメラを内蔵しているものもある。



#### ビデオカメラ

HDMI-USB 変換アダプタを利用することで、ビデオカメラを PC と接続することができる。また、無線送受信機を使用して、ビデオカメラの映像をワイヤレス接続することで、机間指導しながらノートの手書き内容や個別学習の様子などを接続先に配信することができる。

## 6 活動アイデア ④「お店での注文」～話すこと[やり取り]～

### 1 単元目標

海外の飲食店で自分の食べたい料理が注文できるようになるために、注文したい料理やその値段などについて伝え合ったりできる。

### 2 評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと 「やり取り」	<p>＜知識＞ 数や食べ物の言い方や、What would you like? How much is it?、その答え方について理解している。</p> <p>＜技能＞ 自分が注文したい料理について、What would you like? How much is it? 等を用いて、自分の考えや気持ちなどを伝え合う技能を身に付けている。</p>	海外の飲食店で自分の食べたい料理が注文できるようになるために、料理や値段などについて、お互いの考えや気持ちなどを伝え合っている。	海外の飲食店で自分の食べたい料理が注文できるようになるために、料理や値段などについて、お互いの考えや気持ちなどを伝え合おうとしている。

### 3 指導と評価の計画

過程	時間	●ねらい ○主な学習活動	☆ICT活用例	◇評価項目(観点) [指]: 指導に生かす評価 [記]: 記録に残す評価
つかむ	1	<p>●単元の課題を把握し、単元の課題を解決するための見通しをもたせる。</p> <p>○教師の実演により、単元の課題を把握する。</p> <p>○試しの活動に取り組み、単元の課題解決のために何を学ぶ必要があるのかを把握する。</p>	<p>☆単元の課題提示</p> <p>☆新出語彙や基本表現の確認と復唱</p> <p>☆振り返りの共有</p>	◇単元の課題を把握し、課題解決に向けて、学習を進めていこうとしている。(態)[指]
追究する	2	<p>●ていねいに注文したり、値段をたずねたりする場面のやり取りについて、おおよその内容を理解する。</p> <p>○ていねいに注文したり、値段をたずねたりする表現に慣れ親しむ。</p>	<p>☆歌・チャンツ</p> <p>☆新出語彙や基本表現の復唱</p> <p>☆新出語彙や基本表現の発音練習</p> <p>☆発表用資料作成</p> <p>☆やり取り練習の録画とフィードバック</p>	◇ていねいに注文したり、値段をたずねたりする表現について理解している。(知)[指]
	3	<p>●ていねいに注文をたずねたり、答えたりすることができる。</p> <p>○店員役と客役になり、ていねいな表現を使って注文をたずね合う。</p>	☆振り返りの共有	◇ていねいに注文をたずね合っている。(知)[指]
	4	<p>●値段をたずねたり、答えたりすることができる。</p> <p>○店員役と客役になり、値段をたずね合う。</p>		◇値段についてたずね合っている。(知)[指]
	5	<p>●ていねいに注文したり、値段をたずね合ったりすることができる。</p> <p>○店員役と客役に分かれ、ていねいに注文したり、値段をたずね合ったりする。</p>		◇ていねいに注文したり、値段をたずね合ったりしている。(知)[記]
	6	<p>●料理や値段などについて、お互いの考えや気持ちなどを含めて伝え合っている。</p> <p>○料理や値段などについて、お互いの考えや気持ちなどを含めて伝え合う。</p>		◇料理や値段などについて、お互いの考えや気持ちなどを伝え合っている。(思)[記]
まとめる	7	<p>【遠隔交流学習】</p> <p>●料理や値段などについて、お互いの考えや気持ちなどを含めて伝え合っている。</p> <p>○料理や値段などについて、お互いの考えや気持ちなどを含めて伝え合う。</p>	<p>☆遠隔交流</p> <p>☆振り返りの共有</p>	◇料理や値段などについて、お互いの考えや気持ちなどを伝え合おうとしている。(態)[記]

## 6 活動アイデア ④「お店での注文」～話すこと[やり取り]～

交流相手：A L T

目 的：海外の小学生と夏休みの思い出を伝え合う活動を通して、世界と日本の夏休みの過ごし方についての違いなどを知る。

基本語彙：食べ物、味、数など

基本表現：What would you like? I'd like ~. How much is it? It's ~ yen.

### やり取り（例）① 1品ずつ注文

A: Hello.

B: Hello.

A: What would you like?

B: I'd like a hamburger.

How much is it?

A: It's 500 yen.

B: Here you are. (代金を渡す)

A: Here you are. (注文した料理を渡す)

B: Thank you.



### やり取り（例）② 複数同時に注文

A: Hello.

B: Hello.

A: What would you like?

B: I'd like a hamburger and a salad.

How much is it?

A: A hamburger is 500 yen.

A salad is 280 yen.

780 yen, please.

B: Here you are. (代金を渡す)

A: Here you are. (注文した料理を渡す)

B: Thank you.



### コラム これではばっちり! ICT の効果的な活用

文部科学省では、1人1台端末の利活用をスタートさせる全国の教育委員会・学校に対する支援活動を展開するため、「すぐにでも」「どの教科でも」「誰でも」活かせる1人1台端末の活用方法に関する優良事例や本格始動に向けた対応事例などの情報発信・共有を随時行っています。

特設ウェブサイト「StuDX Style (スタディーエックス スタイル)」では、1人1台端末の更なる利活用の促進に向けて、全国の学校や自治体から提供いただいた端末の活用方法に関する優良事例等を数多く紹介しています。具体的には、活用のはじめの一歩となる「慣れるつながる活用」、各教科等の学習に生かす「各教科等での活用」の事例を紹介するとともに、各教科等での学習を実社会での問題発見・解決に生かしていく「STEAM 教育等の教科等横断的な学習」の取組事例もあわせて掲載しています。

🔗 [StuDX Style \(スタディーエックス スタイル\)](#)



## 6 活動アイデア ⑤「日本の文化」～話すこと[発表]～

### 1 単元目標

留学生に日本の文化についてよく知ってもらうために、日本の行事や食べ物などについて、伝えようとする内容を整理した上で、話すことができる。

### 2 評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと 「発表」	<p>&lt;知識&gt; Why do you like ~?, We have ~. What do you do ~? I usually ~. You can ~. 及びその関連語句などについて理解している。</p> <p>&lt;技能&gt; 日本の四季や文化などについて、Why do you like ~? We have ~. What do you do ~? I usually ~. You can ~. およびその関連語句などを用いて、話したりする技能を身に付けている。</p>	自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、日本の四季や文化などについて、自分の考えや気持ちなどを含めて話している。	自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、日本の四季や文化などについて、自分の考えや気持ちなどを含めて話そうとしている。

### 3 指導と評価の計画

過程	時間	●ねらい ○主な学習活動	☆ICT活用例	◇評価項目(観点) [指]: 指導に生かす評価 [記]: 記録に残す評価
つかむ	1	<p>●単元の課題を把握し、単元の課題を解決するための見通しをもたせる。</p> <p>○教師の実演により、単元の課題を把握する。</p> <p>○試しの活動に取り組み、単元の課題解決のために何を学ぶ必要があるのかを把握する。</p>	<p>☆単元の課題提示</p> <p>☆新出語彙や基本表現の確認と復唱</p> <p>☆振り返りの共有</p>	◇単元の課題を把握し、課題解決に向けて、学習を進めていこうとしている。(態)[指]
追究する	2	<p>●日本の四季や文化についてのおおよその内容を理解する。</p> <p>○日本の四季や文化を伝える表現に慣れ親しむ。</p>	<p>☆歌・チャンツ</p> <p>☆新出語彙や基本表現の復唱</p> <p>☆新出語彙や基本表現の発音練習</p> <p>☆発表用資料作成</p> <p>☆発表練習の録画とフィードバック</p> <p>☆振り返りの共有</p>	◇日本の四季や文化について伝える表現について理解している。(知)[指]
	3	<p>●日本の遊びや年中行事に関する語句について、理解することができる。</p> <p>○日本の遊びや年中行事に関する語句について理解する。</p>		◇日本の遊びや年中行事に関する語句について理解している。(知)[指]
	4	<p>●好きな季節とその理由についてたずねたり答えたりすることができる。</p> <p>○好きな季節とその理由をたずね合う。</p>		◇好きな季節とその理由をたずね合っている。(知)[指]
	5	<p>●元日にすることについてたずねたり答えたりすることができる。</p> <p>○元日にすることについてたずね合う。</p>		◇元日にすることについてたずね合っている。(知)[記]
	6	<p>●相手に配慮して、日本の四季や文化について紹介することができる。</p> <p>○話す内容や順序などを工夫しながら、日本の四季や文化について紹介する。</p>		◇話す内容や順序などを工夫しながら、日本の四季や文化について紹介している。(思)[記]
まとめる	7	<p>【遠隔交流学習】</p> <p>●日本のよさが伝わるように、自分の考えや気持ちを含めて日本の四季や文化について紹介することができる。</p> <p>○Web会議システムを使って、日本の四季や文化について紹介する。</p>	<p>☆遠隔交流</p> <p>☆振り返りの共有</p>	◇日本の四季や文化について、自分の考えや気持ちなどを伝え合おうとしている。(態)[記]



## 6 活動アイデア ⑤「日本の文化」～話すこと[発表]～

交流相手：留学生

目的：留学生に日本の四季や文化について紹介し、日本のよさを知ってもらう。

基本語彙：季節、形、遊び、年中行事など

基本表現：Why do you like ～? We have ～. What do you do ～? I usually ～. You can ～.

### 発表（例）①質問の投げかけ無し

Hello.  
Welcome to Japan.  
I'm Sara.  
Nice to meet you.  
We have summer festivals in Japan.  
You can enjoy fireworks in summer.  
It's exciting.  
This is a yukata.  
You can wear yukata.  
Thank you.




### 発表（例）②質問の投げかけ有り

Hello.  
Welcome to Japan.  
I'm Sara.  
Nice to meet you.  
We have summer festivals in Japan.  
**I like summer festivals.**  
**Do you like summer festivals?**  
You can enjoy fireworks in summer.  
It's exciting.  
This is a yukata.  
You can wear yukata.  
**Do you like it?**  
Thank you.



### コラム 外国語の指導における ICT 活用

文部科学省作成の「外国語の指導における ICT の活用について」では、外国語の指導におけるICTの活用事例などが掲載されています。前半部分では、ICT活用が、学習指導要領外国語にどのように位置づけられているか、また、全国でどのくらい活用されているのかが示されています。後半部分では、実際に学校で行われているICTを活用した取組事例やアイデアが「言語活動・練習」、「交流・遠隔授業」、「コンテンツ・授業運営」の三つの類型に分けて紹介されています。

 [外国語の指導における ICT の活用について](#)



## 6 活動アイデア ⑥「他己紹介」～話すこと[発表]～

### 1 単元目標

身近な人を紹介するために、その人のできることなどについて、短い話を聞いてその概要が分かったり、伝え合ったりすることができる。

### 2 評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと 「発表」	<p>&lt;知識&gt; I/You/He/She can ～. Can you ～? Who is ～? This is ～. 及びその関連語句などについて理解している。</p> <p>&lt;技能&gt; I/You/He/She can ～. Can you ～? Who is ～? This is ～. 及びその関連語句などを伝え合う技能を身に付けている。</p>	自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、身近な人のできることなどについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、伝え合っている。	自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、身近な人のできることなどについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、伝え合おうとしている。

### 3 指導と評価の計画

過程	時間	●ねらい ○主な学習活動	☆ICT活用例	◇評価項目(観点) [指]: 指導に生かす評価 [記]: 記録に残す評価
つかむ	1	<p>●単元の課題を把握し、単元の課題を解決するための見通しをもたせる。</p> <p>○教師の実演により、単元の課題を把握する。</p> <p>○試しの活動に取り組み、単元の課題解決のために何を学ぶ必要があるのかを把握する。</p>	<p>☆単元の課題提示</p> <p>☆新出語彙や基本表現の確認と復唱</p> <p>☆振り返りの共有</p>	◇単元の課題を把握し、課題解決に向けて、学習を進めていこうとしている。(態)[指]
追究する	2	<p>●身近な人についての話や、できること・できないことについての話を理解することができる。</p> <p>○身近な人についての話や、できること・できないことについての話を聞く。</p>	<p>☆歌・チャンツ</p> <p>☆新出語彙や基本表現の復唱</p> <p>☆新出語彙や基本表現の発音練習</p>	◇身近な人についての話を聞き取り、内容を理解している。(知)[指]
	3	<p>●自分のできること・できないことを伝えることができる。</p> <p>○スポーツや楽器の演奏など、自分のできること・できないことを伝えることができる。</p>	<p>☆発表用資料作成</p> <p>☆発表練習の録画とフィードバック</p>	◇自分のできることやできないことを伝えている。(知)[記]
	4	<p>●できること・できないことをたずね合うことができる。</p> <p>○友達にインタビューをして、スポーツや楽器の演奏などをできるかどうかをたずね合う。</p>	☆振り返りの共有	◇できるかどうかをたずね合っている。(知)[記]
	5	<p>●身近な人の職業やできることなどを紹介することができる。</p> <p>○身近な人の職業やできることなどを紹介する。</p>		◇身近な人のことを紹介することができる。(知)[記]
	6	<p>●相手に配慮して、身近な人について紹介することができる。</p> <p>○内容や順番などを工夫しながら、身近な人について紹介する。</p>		◇相手への伝わりやすさを意識して、話す内容や順序などを見直そうとしている。(態)[記]
まとめる	7	<p>【遠隔交流学習】</p> <p>●相手意識をもって身近な人について紹介することができる。</p> <p>○Web会議システムを使って、身近な人について紹介する。</p>	<p>☆遠隔交流</p> <p>☆振り返りの共有</p>	◇自分の考えや気持ちなどを含めて身近な人について紹介している。(思)[記]

## 6 活動アイデア ⑥「他己紹介」～話すこと[発表]～

交流相手：他校の小学生

目的：家族や友達を紹介する活動を通して、お互いのことをよりよく知る。

基本語彙：動作、建物、楽器、家族・人など

基本表現：Can you (play volleyball)? Yes, I can. / No, I can't.

Who is (Ito Yuna)? She is (my sister). She can (skate well).

Who is this? This is (Mark Smith).

### 発表（例）①質問有り

A: Hello.

This is Bando Taro.

He is my father.

He is a baker.

He can bake bread well.

Thank you.



### 発表（例）②質問無し

A: Hello.

B: Hello. **Who is this?**

A: This is Bando Taro.

B: **Who is Bando Taro?**

A: He is my father.

He is a baker.

B: **Can you bake bread?**

A: No, I can't.

But he can bake bread well.

Thank you.



### コラム 活用しよう!便利な ICT 周辺機器

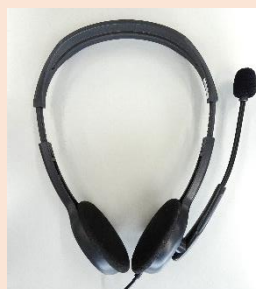
#### 無指向性マイク

全方位から音声を集めることができる。他のグループの声も拾うことができるので、その点が注意!



#### ヘッドセット

マイクとスピーカーがセットになっており、周囲の音声に影響されずに、接続先と会話することができる。



#### 多分岐アダプタ

グループで接続する場合は、オーディオ分配器を使うことで、複数人が同時にイヤホンを利用できる。



